

なぜ全国組織に入らないのか？

千葉・里予木寸矢口生

生活者主権の平成維新千葉では、平成維新を実現する会全国協議会への参加を保留しています。そのことに対する見解です。

皆さん、大前通信はお読みになっていますか？（もしお読みになっていなくて興味がある方は、ブレイクスルー編集委員会までお問い合わせ下さい）現在、大前通信紙上で、平成維新を実現する会全国協議会なるものの記事がかかれていますと思いますが、現在、平成維新千葉はそこへの参加を保留しております。先日、そのとりまとめ人のお一人である林冬彦氏から、平成維新千葉へ質問状をいただきました。下記の回答内容は、大井氏が作成したのですが、代表の承認を得て、平成維新千葉の回答として、掲載いたします。（一部修正あり）

【Q】先々週に群馬県高崎市で行われた平成維新を実現する会全国協議会の席において、千葉から出席されていた代表の高橋さんが、全国組織への参加を保留する旨発言されました。（中略）高橋さんに今年の2月から再三これについては申し上げているのですが、全国の状況を見させてもらってから、まだ必要性を感じないからと言われ、それが千葉の意見として全国協議会に伝わっています。本当にこれは千葉の総意なののでしょうか？

《A》平成維新千葉の総意で保留しています。

【Q】また、参加されないとすれば、何が問題になっているのでしょうか。教えてはいただけないでしょうか。

《A》全国協議会の目的および活動方針が不明のため、参加を保留しています。以下に補足説明をいたします。

生活者主権を目指す市民活動は、個人が自分の意思で発意し行動することが原則です。ところが往々にしてこの原則を忘れ、誰かが指示を出すまで行動しない、そして協力したものの結果が思わしくないときには指示を出した人を非難する、という失敗に陥りやすいのが市民運動の常。旧平成維新の会の反省もこの点にあったと思います。このところの首都圏の各エリアの活動は、個人または参加当事者責任の原則に乗っ取ったものになりました。8月のNJ96やこの春の住選処理反対運動は個人がやりたいと考え、それに賛同する人と共に実現に向けて運動したものです。平成維新千葉の行政監査や市民オンブズマンとの提携も会員各位が発意して実行しています。会員であっても、ある企画には賛同しないという人がいるのは当然で、その人達はその活動については静観するという形になります。気の進まない会員までも動員するのでは、どうしても不協和音が聞こえてきて、長続きしません。やりたい人が、自己責任でやるのだから自然体でできるのではないのでしょうか。

しかしながら、上記に挙げた活動だけでは、どうしても県内だけの展開になってしまう、という懸念があります。また、他の地域の活動を参考にしたい、そのための情報交換の場が必要だ、とのご指摘はもっともです。こ

の点に関しては、各組織の会報をやり取りしたり、維新フォーラムを活用することで対処しています（維新フォーラムには、本会報に掲載された記事の多くを毎月転載し、全国各地の方々に活動内容を報告しています）。

このように考えますと、全国協議会に何を期待すればよいのか、どうしてもはっきりしません。年に数回、時間と交通費と宿泊費と体力を使って、何を協議するのでしょうか。運営のための事務手続きだけが増加して、結果的に生活者主権の国造りには遠回りになるのではないかとも思えるのです。（千葉「会報」より転載）

「第2回会員総会」で以下の事項が承認されました。

財務会計委員長・ネ申木寸矢口行

【平成維新を実現する都民の会・初年度会計報告】

（1995年7月1日～1996年6月30日）

<収入の部>

初年度会費	326名	978,000	
2年度会費	48名	144,000	
3年度会費	2名	6,000	
4年度会費	1名	3,000	
			会費合計 1,131,000
			協力金23名 336,000
			預金利息 272
			収入合計 1,467,272

<支出の部>

会報発行費	657,094	95/11-96/5	
封筒印刷経費	13,704		
送金手数料	3,295		
振替用紙送料宅急便	1,860		
総会会場費96年7月	13,800		
			支出合計 689,753
			次年度繰越 777,519

【平成維新を実現する都民の会・2年度予算】

（1996年7月1日～1997年6月30日）

<収入の部>

前年度繰越	777,519	
2年度会費	352名	1,056,000
収入合計		1,833,519

<支出の部>

会報発行	1,300,000	96/6-97/6 10万/号
封筒・宅急便他経費	65,000	発行費*5%
予備費	300,000	
支出合計	1,665,000	次年度繰越 168,519

【初年度協力金・振込者名簿】

22万円：大山悦男／2万7千円：長谷川文昭／1万円：宇佐美一雄／7千円：小枝尚・鈴木肇・浅田重雄・江川朗・早川基彦・矢尾高治・寺島治／5千円：樋口美智子・井上真六／2千円：尾崎光三・太田一博・野添健郎・芹澤繁生・吉村孝雄・村松孝一・北島美雄・石川康弘・小西八郎／1千円：久慈幹人・渡辺均。合計33万6千円